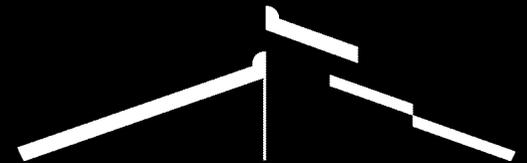




The House of Atreus, Sumida-ku, Tokyo



NPO 法人向島学会 ×
東京アートポイント計画画

—
墨東まち見世 2010

墨田区在住アトレウス家

家を一軒借りてみた。

そこにはむかし、ギリシャ悲劇の一家が住んでいた。



家やまちの眺め方。



ギリシャ悲劇に登場する一家が暮らした家だと思えば、いろいろなものが見えてくる。





彼らが暮らしたまちだと思えば、いろいろなものが見えてくる。



Part 1 夏 次女エレクトラが復讐する話。



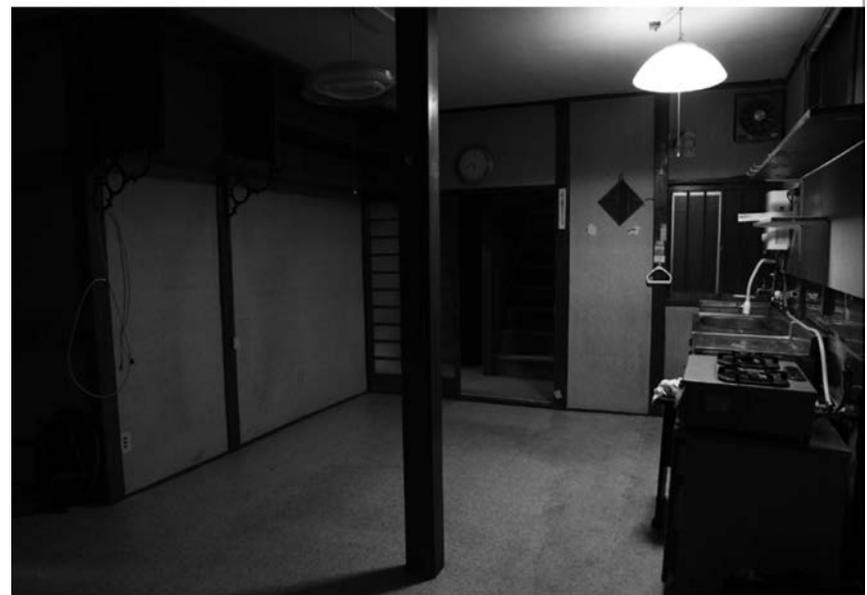


どこを開けてのぞいてもかまいません。





行方不明の弟が帰ってくる。



花火の夜。戦争から戻った父を、母と愛人が待ちかまえていた。



2





おばさんが駆け落ちしたせいで戦争が始まる。



あれから何年。



Part 3x4 春 家系図を片手に散歩。



くだる時間とさかのぼる時間。



3 4



道ばたで待っていればバスが来る。



現在の東京のまちとギリシャ悲劇を無造作に重ねたときに、何が
見えてくるかに関心がありました。下町のふつうの民家に、ギリシャ
悲劇の登場人物たちが住んでいると想像すると、「ん？」と脳みそ
に負荷がかかって、ちょっと面白いような気がしました。お風呂場
や台所などの見え方も変わってきます。

つまり、海外の古典をダシにして、ふだん見過ごしてしまっている
ごく平凡な家やまちを、もっとよく見つめてみようというわけです。
〈演劇〉というのは表現芸術の1ジャンルというよりも、じつはむ
しろ道具や技能のようなもので、演劇的発想をツールとして、さま
ざまなことができるのです。実際に在るものとフィクションとが二層
のレイヤーのように重なり合い、そのおかげでふつうだと見えない
色々なことが感じられ、考えられるようになる。劇場での上演は演
劇のほんの一面にすぎません。

10か月にわたるこのプロジェクトは、そんなふうに演劇を使いこな
しながら、どうしたらある家やまちのもつ、生活や歴史（という大げ
さですが）に対して感覚を開くことができるのかを探るものでした。
2010年夏におこなったPart 1では、家のディテールを見つめるこ
とに力を注ぎました。翌2011年正月のPart 2では、同じ家の
なかに流れる複数の時間をつかまえようと思いました。そして最後はい
よいよ家の外にでて、春のきざすのどかなまちを歩きながら、二種
類の時間の流れをたどろうと準備をしていたさなか、3月11日を
迎えました。

公演は中止にせざるをえませんでした。安全上の理由というよりも、
そもそも目をこらし見つめようとしていた「何もない日常」がなくな
ってしまったのです。

http://thoa.gr/
http://twitter.com/atreuske

墨田区在住アトレウス家 Concept Book

編集：長島健
写真：雷田了平
デザイン：福岡泰隆
発行：東京文化発信プロジェクト室
発行日：2012年3月30日

本プログラムは、墨田区の北半分を占め、東京でも貴重な下町情緒の残る墨東（ぼくとう）エリアを舞台として2009年より行われているアートプロジェクト「墨東まち見世」の一環として実施されました。

「東京アートポイント計画」とは、「東京アートポイント計画」は、東京ならではの芸術文化の創造・発信と芸術文化を通じた子供たちの育成を目的に、東京都公益財団法人東京都歴史文化財団が実施している「東京文化発信プロジェクト」の一環として、平成24年度より新たに着手している事業です。東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指しています。

NPO法人向島学会 × 東京アートポイント計画
墨東まち見世 2010

墨田区在住アトレウス家 The House of Atreus, Sumida-ku, Tokyo

Part 1 2010年7月31日(土) - 8月1日(日)
Part 2 2011年1月13日(木) - 16日(日)
Part 3x4 2011年3月16日(水) - 20日(日) ※震災のため中止

会場：旧アトレウス家（東京都墨田区東向島）および周辺
出演：福田毅 武田力 稲継美保 関谷洋子 山崎朋 立川真代 石田晶子
東彩織 堀切梨奈子 西島慧子／國武葵 北條元康 小林賢弘
大橋加誉 藤井さゆり 板上翔子 原友里恵 吉中詩織 宮武亜季
雷田了平 (Part 1)／大谷能生 佐藤慎也 (Part 2)／石田龍太郎
堀内里菜 馬淵かなみ 和田匡史 (Part 3x4)

コンセプト・構成・演出：長島健
コラボレーター：福田毅 武田力
レトロクッキング：EAT & ART TARO
写真・映像：雷田了平
ロゴデザイン：福岡泰隆
ドラマトゥルク：佐藤慎也 横堀応彦 (Part 1)
演出助手：宮武亜季
制作：戸田史子

企画：mmp (ミクストメディア・プロダクト)
主催：東京都 東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)
特定非営利活動法人向島学会
協力：日本大学佐藤慎也研究室
東京藝術大学市村作知雄研究室
中野成樹＋フランケンズ 花よし生花店
堂地堂 昆野純子 こそみ図書
本間晴智 Yuri-chan 佐脇三乃里
菅野菜実子 碓笑美子 刃部将大